
ありがとう

呉羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ありがとうございます

【Nコード】

N2317D

【作者名】

呉羽

【あらすじ】

願いがかなった。うれしいです。

俺、リナ。まあー、女だよ。俺、今度、オヤジの事情で、引越しになつた。

今度の、月曜日に、東京に、引っ越す。本当は、いやだ。だって、好きな人が、いるから。

でも、その人は、俺の、こと、嫌い、見たいなの。でも、遊ぶ約束をした。

「ねえー何知って、遊ぶの？」

「うるせえい」

「なんだよ。もう、知らない、海馬なんて。」

「おい」

なんだよ、リナって変なやつだな。

でも、かわいいところ、あるじゃん。

あーあいつ、今度、引っ越すんだつたなあー。だから……………

次の日……………

おはよう。皆が、

笑つてた。

先生まで。海馬も、あー今日までかあー。お別れ会を知つた。

かえりに、

海馬が、俺に、話を、して来た。

「ねえねえ」

「何」

「す……」

「す……なあに？」

「すきです」

「……ええー、すきー」

驚いたあまり、たおれた。

……

目をあげた。そしたら、

海馬が、いった。寝てた。

俺もすきだよ。

誰よりも、お前を一番、愛してる。

ああ、海馬海馬海馬海馬……！

（心の声）

海馬は、目をあげた。

俺は、あわてて目を閉じた。

リナまだ、寝てるのかよ。

海馬が、泣いた。

「もう、会えなくなるのかよ、そんなの、俺様が許さない」

海馬俺のせいで

ついに、東京に行くときがきた。

海馬が俺に、花をわたした。

海馬は、俺の耳もとで「将来、俺様との、結婚相手だ」

と言って・・・キスをした

ほかの学校で今がんばっています

終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2317d/>

ありがとう

2010年10月28日07時08分発行